

弓達 秀樹 議員



(一括質問方式)

- ① いやしの南予博2016
- ② 青島
- ③ 長浜町未来構想
- ④ 中心商店街の将来

いやしの南予博2016について

問 250を超える多彩な催しを展開するえひめいやしの南予博2016は、開催から5カ月が経過した。

本市においても、市民団体などからイベント参加の協力を得て、各種プログラムを実施しており、最近ではJR大洲駅前でも旅行かばんを持った観光客を頻繁に見かけるようになってきたが、本市に

おける約5カ月間の各種イベントの動員、成果はどのような状況なのか。

答 5カ月間の本市におけるイベントプログラムの動員数については、50プログラムのうち39のプログラムが実施されており、速報値ではこれまで約20万5,000人の動員がなされています。主要な観光施設全体の平均としては約11%の伸びを示しており、着実に観光客が増加している状況です。さらに、大きな成果としては市民の皆様の参画が挙げられ、また、南予博を契機として新しい大洲市の魅力が発掘されていることも成果の一つとなっています。

青島について

問 青島の人口は、現在16人ということであるが、今後も島民の生活を維持するためには、引き続き離島振興対策実施地域の指定を受け続ける必要がある。また、増え続ける猫に対しては、不妊手術の必要性というものも考えなければならぬ。

そこで、今後の青島の将来と猫に対する不妊手術の必要性について市長の見解を伺いたい。

答 青島の離島振興対策実施地域への指定については、今後も、地域指定の継続のため、関係機関に要望を行うとともに、離島振興計画に基づき、地域振興を図っていく必要があると考えています。

また、青島は人と猫が共生しているすばらしい地域であるというふうに考えており、不妊手術というのも一つの方法ですが、餌の管理に注意するなど、従来のように人と猫が共生して、維持継続していく環境をつくり出すことも重要ではないかと考えています。

地域振興や増加する猫に対し対策が求められる青島



中心商店街の将来について

問 今議会の補正予算の中で、商工費としてJR大洲駅観光拠点基本計画策定業務委託料が計上されている。これは、本市の玄関であるJR大洲駅構内のキヨスクが4月に閉店となったことにより、駅前の活性化を図るため、物産販売や観光案内の機能及びトイレなどの整備について基本計画を策定するとされている。計画を策定するに当たっては、JR四国との連携協議の上、各方面において連携協定を結ぶことなどが不可欠であるが、現在どのような計画を持たれているのか。

答 JR大洲駅観光拠点基本計画策定業務については、観光客をターゲットとした土産品の販売や、通勤通学時のちよつとした買い物ニーズに応えるための物産販売所、市内観光を楽しむためのくたのための観光案内所の整備、清潔で快適なトイレ機能の拡充などを中心に検討し、整備の基本となる計画を策定しようとするものです。具体的な内容については、今後協議を進めていきます。